

奨学金の拡充と精神障がい者への支援を

たゆ久貴(日本共産党)

①精神障害者保健福祉手帳を持つ人は年々増え、その方々への支援のニーズも増えている。市が委託して主に相談事業などを行っている地域生活支援センターからは、増加するニーズに応えたり、多忙化する業務や必要な新規事業に対応するための体制が十分にとれない。



ていない。運営費の増額や環境整備のための移転など、市が責任をもって支援をするべきではないか。

福祉保健部長 現状ではニーズに答えられていないことや安定した事業運営が困難であることは認識している。これらの課題については協議中であり、予算化については考えたい。

②格差と貧困が広がる中、奨学金を借りなければ進学できない学生が増えている。小金井市には独自の給付制の奨学金制度があるが、人数も金額も学生の実態には追いついていない。約10億円の繰越金の活用や、都市開発と不要不急の道路整備に要する費用を減らせば財源はある。予算を増やして拡充するべきではないか。



地域生活支援センターからの交流室

新庁舎建設に向けて中央線高架化の整備を

沖浦あつし(こがあす)

まちの顔となる駅周辺高架下の整備について。電庫区(車庫)を持つ中央線の駅で特別快速が止まらない駅は武蔵小金井のみ。その昔、国分寺駅を選択された苦い思いが私たちにある。その関係の中で既存の協定の見直し等、市とJR東日本間の歩み寄りの協議を要望する。(ア)市



とJR東日本間の協定による公租公課(租税と使用料の相殺)の敷地割合と面積は。(イ)市運営の高架下自転車駐車場の面積は。(ウ)今後、公共施設設置の際は借地料を払うのか。(エ)武蔵小金井駅東側より蛇の目ミシン工場跡地の間の高架下をJR東日本が有効活用できていない原因は。

当分は、利用可能面積の15%、その面積は約4千600㎡。(イ)約4千800㎡、うち公租公課相当分約3千800㎡。差分約1千㎡は有償貸付。(ウ)公租公課相当分面積は既に全て利用しているため、他の箇所を利用したい場合は有償で借りることになる。(エ)当該敷地は、北及び南側隣地が私有地であるため、接道が法的に満たされていない、開発条件が厳しい箇所となっているが、暫定利用での駅周辺のにぎわいづくりに検討していきたいとのJR東日本の回答を受けている。



武蔵小金井駅東側から蛇の目ミシン工場跡地への高架下は、今なお殺風景な姿が目につく

水、緑、生物を守る地域戦略を作ろう

田頭祐子(生活者ネット)

(ア)環境基本計画にある「小金井市が守りたい緑、水、生き物、人」とは。(イ)生物多様性地域戦略の必要性は。小金井らしい市民参加の地域戦略を。(ウ)保存生け垣・樹木への助成はニーズに合っているか。助成金・保険の拡充、手続きの簡素化、剪定ボランティアとの連携の検討を。



環境部長 (ア)緑とは、緑地、農地、都市公園など全ての緑を守る。新たな緑の創出のための植樹、施設緑化が課題。水とは、地下水、湧水、河川を含む自然の水環境を保全、回復させること。生き物とは、在来生物を守り、絶滅危惧種を保護すること。人とは、生物多様性の恵みの下、環境を保全、再生、

創造する市民の輪を広げること。(イ)生物多様性は様々な危機に瀕している。解決すべき課題と認識。市民参加の手法も含め検討。(ウ)市の保存樹木数は1km当たり70本強と多摩26市中3番目に多いため、肥培管理費は1本当たり2千円となり、低額だと認識。保険は個別審査であり、一部天災への適用もある。金額、手続き、市民連携は研究する。



長さ3m以上で高さ1m以上の生け垣を作ったり作り替えたりする場合、市は費用の一部を助成しています

市庁舎床面積の縮減はいつ最終決定するのか

渡辺大三(リベラル保守)

市庁舎と福祉会館の建設について。(ア)複合で建てるのか、単独で建てるのかは、どのようなプロセスで、いつまでに最終決定するのか。(イ)福祉会館に公民館本館を入れるのか入れないのかは、どのようなプロセスで、いつまでに最終決定するのか。私はずっと



縮減論を提案しているが、どのようなプロセスで、いつまでに最終決定するのか。(エ)地元自治会の防災倉庫が蛇の目ミシン工場跡地内にある。引き続き同敷地内で確保できるよう早期に調整してもらいたい。

制に効果的であるが、それにこだわり過ぎるあまり、将来的な課題を残す庁舎であってはならないとも考える。

障がい理解と差別解消の施策について

坂井えつ子(緑・市民自治)

(ア)現在策定中の障害者差別解消条例について、3月に行なった意見交換会の様子は。(イ)条例案は随分概括的な印象を受ける。逐条解説を作るなど、より実効性を高めたいか。(ウ)差別解消の実現のためには、小金井市の具体的施策が重要となる。市長の考えは。(エ)近年、障害者週間に



要する経費は微減している。実行委員会や市民のアイデアを実現できるような予算措置を。福祉保健部長 (ア)意見交換会は3月に2回開催した。当事者、ご家族、支援者を中心に計48名が参加。そこで頂いた意見は条例内容の一部反映している。今年10月の条例施行を目指し、パブリックコメントを実施予定。

(イ)逐条解説は地域自立支援協議会への提案を考えている。普及・啓発のためのパンフレットを作成予定。(エ)更なる事業拡充のため、実行委員会から予算増額の要望は出ている。適切な予算確保に努めていきたい。

閉会中の委員会日程及び審査案件

庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

8月1日(火)午前10時
▶新市庁舎の床面積縮減等による建築コスト削減等を求める陳情書 ▶庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査

厚生文教委員会

8月3日(木)午前10時
▶小金井市学校給食費補助金の交付に関する条例 ▶J R高架下にバリアフリーのスポーツ施設を建設していただくための陳情書 ▶(公財)小金井市体育協会への補助金交付の一時停止を求める陳情書 ▶子ども施策に関する諸問題の調査 ▶小金井市保健福祉総合計画の策定と運用について

総務企画委員会

8月21日(月)午前10時
▶小金井三宅島友好協会の会長に前市長が就任したことに関する陳情書

行財政改革推進調査特別委員会

8月23日(水)午前10時
▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

議会運営委員会

8月28日(月)午後2時
▶議会改革に関する諸問題の調査 ▶①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。